

社員のスケジュール管理や案件管理の一元化を実現。
部署間や世代間のコミュニケーションも円滑に。



株式会社エスケイ電業様 [香川県 高松市]

代表取締役 佐藤 佳生 様
取締役 副社長 佐藤 亮介 様

インタビュー
動画はこちら



会社概要

株式会社エスケイ電業
[所在地] 香川県高松市
[従業員数] 25名
[主な業務内容] 浄水場、下水処理場、ポンプ場等のプラント系電気設備工事や公共施設、商業施設、テナント、工場など幅広い建築物の電気設備工事の設計・施工

DEN-UP導入前

- 社員のスケジュール管理が煩雑だった
- 案件の内容や進捗は、紙ベースでの管理のため手間だった
- 工事写真の撮影から報告書の作成まで時間がかかる

↓

DEN-UP導入後

- 全社員のスケジュール管理を一元化することで、把握、調整がスムーズに
- クラウド上でデータを管理することで、モバイル端末での閲覧、共有が簡単になり、ペーパーレス化も実現
- 写真撮影から報告書の作成までが「DEN-UP」1つで完結

社員のスケジュールが見える化し、調整がラクに
—どのようなお悩みがあり、「DEN-UP」を導入された
のですか？

社長様：弊社では、これまで社員のスケジュールや案件管理を紙やExcel、他社のサービスなど複数のシステムで行っていましたが、これを一元化し、デジタル化するために「DEN-UP」の導入を決めました。さらに、以前使用していたサービスでは社員1人につき1アカウント分の費用が発生していましたが、「DEN-UP」はアカウント数に制限がなく、そのうえ安価な固定費用で済むため、コスト削減にも大いに助かっています。この点も導入の大きな決め手となりました。

弊社の主な仕事は官公庁の案件で、工事写真に規定があり、台帳の整理に手間がかかります。そのため、写真管理機能を特に活用したいと考えていました。現場で撮影した全ての写真をクラウドにアップロードし、会社に戻って整理、書類作成を行います。このシステムが非常に使いやすいと感じています。加えて、施工管理機能で全社員のスケジュールや案件進捗状況、見積り確認もスムーズに行え、スマートフォンでいつでも対応できる点も便利です。

—案件管理やスケジュール管理はしやすくなりましたか？

副社長様：案件も一覧で確認や管理ができ、着工・竣工・清算済みというように、現場の進捗状況を一目で把握できるようになりました。また、今日誰がどこに行っているのか、どの日に空きがあるのかなど、社員のスケジュールも一覧で確認でき、スケジュール調整が効率化されました。

電子小黒板で作業時間が短縮に
—写真管理機能の活用方法を教えてください。

副社長様：電子小黒板機能も非常に魅力的です。以前は黒板と白墨を使用し手書きしていましたが、これをすべて電子化し、タブレット上で編集・作成することにしました。工種ごとに細分化して分けられるため、撮影箇所と工種を選択するだけで、電子小黒板を呼び出し撮影ができます。現場での撮影が大変スムーズになりました。

社長様：手書き作業は時間がかかりますし、字の綺麗さも個人でバラつきがあります。電子小黒板は事前に作成しておけるので、現場で黒板を書く必要がなく、非常に作業が早くなり、負担が減りました。また、その場で編集ができるのも魅力です。

—社内コミュニケーションに変化はありましたか？

副社長様：スケジュール共有やチャット機能の活用により、コミュニケーションがスムーズになりました。以前は確認事項が出るたびに電話で連絡していました



【スケジュール】多彩な表示機能が従業員や職人の差配にお役立ちします



【チャット】案件や課ごとにグループチャットが作成できるので、必要な情報やデータのやり取りがスムーズ



【電子小黒板】入力項目もわかりやすく編集操作も簡単



【現場写真】事前に作成した電子小黒板を簡単に呼び出せるので撮影がラク

DEN-UPの特長

- 電気工事会社向けだから使いやすい!
- 自社の業務に合わせてツールを組み合わせ導入可能
- 各ツールで登録された案件を紐づけて一元管理
- お手ごろな価格で導入しやすい!



DEN-UPについて詳しくはこちら

が、今では案件ごとや課ごとのチャットを通じて、迅速に確認や状況報告ができるようになりました。

案件管理についても、以前はExcel表での管理だったため、パソコンがない現場では確認が難しく、電話での確認が頻繁でしたが、今では状況を簡単に確認できるようになりました。

タブレット1台で現場で様々なことができるようになり業務効率がアップ

—残業時間の削減にもつながっていますか？

社長様：現場監督は、会社に戻ってから撮影した写真の整理や書類作成を行わなければならないので、そのためどうしても残業が発生していました。「DEN-UP」を導入したことで、業務の効率化が進み、残業時間の削減にもつながり始めています。ただし、まだ完全にはその効果を実感できていない部分もあります。それでも、少しずつではありますが、業務が効率化されていることは感じており、今後さらに改善されることを期待しています。

—現場の方の負担軽減につながっていますか？

社長様：施工図や工程表の確認、写真撮影、電子小黒板の作成がタブレット1台でできるようになり、カメラや黒板、図面を持ち歩く必要がなくなりました。これはかなりの負担軽減といえるのではないのでしょうか。

副社長様：図面や仕様書のデータがすべてタブレットに入っていますので、現場で確認できるようになったことが最も便利な点です。荷物が減り、ペーパーレス化が進みましたし、何より忘れ物を取りに戻ることもなくなり、

社員は非常に喜んでます。

**若い社員が率先して使用することで、
年配社員の利用率もアップ**

—「DEN-UP」導入当初から、皆様が使われていましたか？

社長様：導入当初、年齢層の高い社員は新しいツールを使うことに抵抗がありましたが、若い社員が率先して使う姿を見て、先輩社員も若い社員に使い方を聞きながら、徐々に使い始めました。今後、若い社員が先輩社員とコミュニケーションを取る手助けにもなると思います。

—社内浸透させるための工夫はされましたか？

副社長様：月初の安全会議で、「DEN-UP」の使用法やルールを全社員に周知しました。導入時には、社員が理解するまでオンライン説明会を何度も開いていただき、さらに中堅社員が社内での推進に尽力してくれました。導入当初は、従来のやり方からの変更に対応するのが大変だったようですが、その努力の甲斐あって、少しずつですが社内に浸透してきたと実感しています。

—全国の電気工事会社様へメッセージをお願いします。

社長様：弊社は「DEN-UP」導入から1年が経ち、ほとんどの社員が「DEN-UP」を使用しており、その便利さを認識しています。経営的にも、業務効率化を図るためにも導入して良かったと感じています。

副社長様：若い社員はDXツールに比較的抵抗がなく、先輩社員とのコミュニケーションにも役立っています。「DEN-UP」は、DXツールとしてだけでなく、コミュニケーションツールとしても非常に有用なので、おすすめします。